宮古島MaaS推進事業｜ジョルダン株式会社

2026/03/30

目的：公共交通の利便性向上とデータ分析の環境構築

- 宮古島におけるMaaSアプリ導入やキャッシュレス端末が未導入となっている路線バスへのキャッシュレス対応及び同端末を活用したチケット認証により、地域住民および入域者の利便性向上、路線バス、タクシーによる市内移動の可用性を高め、サービス利用者の利用データ取得・分析により、地域課題の解決を目指すもの。

事業内容：MaaSアプリ導入とキャッシュレス対応

【交通サービスの高度化】

- 現金のみの運賃収受となっている八千代バス4車両、共和バス5車両に対してBOSS端末を導入し、クレジット決済および二次元コードチケット認証に対応する環境を整備した。
- 宮古島市の路線バスとタクシーで利用可能な既存MaaSアプリを導入し、路線バス乗り放題にタクシー利用、施設利用を組み合わせた企画券を造成した。

【モビリティデータの取得・活用】

- MaaSアプリの導入により取得したデータやクレジット決済の利用データを活用し、利便性向上に資するバス路線の設置や、共通乗車券および乗継割引の導入施策検討に活用した。

【地域交通政策等の連携】

- 観光客の利用が確認できたバス路線について、路線維持の必要性、運行計画検討の基礎データとして活用した。

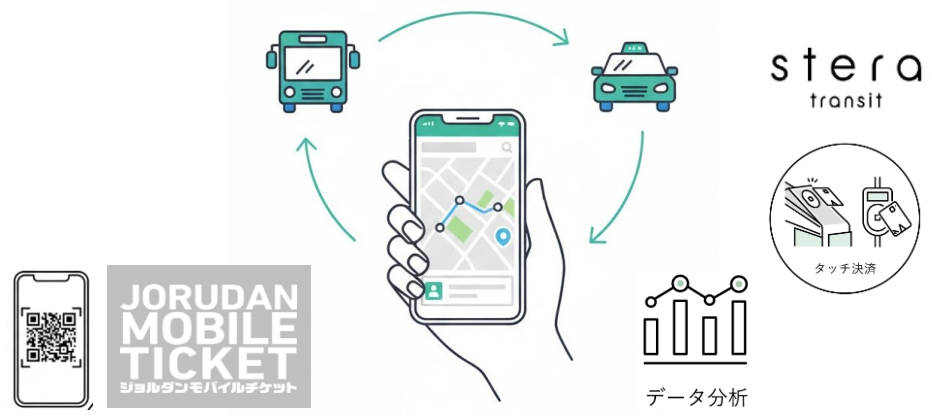
効果

- 課題：宮古島市内においてバス会社によって運賃収受が異なる状況であったこと、乗降データが未取得等の問題により、利用促進や利便性の向上に関する取組み実施が困難であった。
- 効果：本事業により市内すべてのバスでキャッシュレス対応が実現した。また、BOSS端末導入により乗降や消費に関するデータを取得・分析し、各種施策に活用できる環境を構築できた。

【実施エリア】沖縄県宮古島市



【本事業の取組の全体像】



【 MaaSアプリチケット画面】



【バスに設置したBOSS端末での認証の様子】



MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	路線バス、タクシーによる市内の移動利便性の向上、観光客・地元住民による利用促進等、地域特性に応じた適切な交通手段の確保が求められている。	本事業により、路線バス4社、タクシー10社の合計14社の利用を組み合わせたMaaSを導入し、複数の交通手段を利用できる環境が整備できた。
2	市内4つの路線バスのうち2社がキャッシュレス未対応なため、運賃収受方法が不統一となっていた	本事業によりこれまでキャッシュレス未対応であった2社にBOSS端末を導入し、市内すべてのバス(4社)でキャッシュレス対応を実現。
3	持続可能な公共交通の維持等、地域の様々な事業者での連携による回遊性の向上等の施策検討するにあたってのデータ収集・分析の環境が整っていなかった。	BOSS端末を用いたデータ取得・分析により、利便性向上に資するバス路線の設置や、共通乗車券および乗継割引の導入施策を検討するにあたっての環境を整備できた。

KPI

【凡例】 赤字:目標達成　青字:目標未達成

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度・回数	事業実施年度の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	MaaSアプリ利用者数	MaaSアプリ利用者数	MaaSチケットの利用データの取得	事業年度末にとりまとめ	1ヶ月あたり30人以上	31人	達成:路線バス4社に乗れる利便性の高さ、価格の安さがニーズに合致。
2	MaaS利用者の満足度向上	MaaS利用者の満足度	利用者アンケート調査	事業年度末にとりまとめ	90%以上	40%	未達成:路線バスの運行本数等、公共交通の利便性の低さ自体で低評価となった。
3	データ分析ツールの利用者評価向上	事業者・行政担当者の利用満足度	事業者アンケート調査	事業年度末にとりまとめ	満足度評価75点以上	50点	達成:データ数が少なく、データ取得の環境構築止まりとなったため
4	企画券の参加事業者(交通)	交通事業者の参加数	実証運行時の参加数報告	事業年度末にとりまとめ	5社	14社	達成:市役所と連携し、交通事業者から取組みについての理解を得れたため
5	企画券の参加事業者(観光施設等)	観光事業者等の参加数	実証運行時の参加数報告	事業年度末にとりまとめ	3施設	4施設	達成:観光協会・商工会とも連携し、取組みについて理解を得れたため

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.